

マイケル・カービー元ＣＯＩ委員長の勲章受賞記念レセプションにおける
加藤大臣の祝意メッセージ

マイケル・カービー元「北朝鮮における人権に関する国連調査委員会（ＣＯＩ）」委員長の旭日重光章受章に改めて心からお慶び申し上げます。

カービー元ＣＯＩ委員長には、5月初めにインドネシアのマルズキ・ダルスマン前国連北朝鮮人権状況特別報告者とともに来日いただき、皇居において安倍総理から旭日重光章を叙勲された後、北朝鮮の人権状況について記念の講演をいただきました。拉致被害者家族の方々も再会を喜ぶとともに、カービー元委員長が拉致問題を含む北朝鮮の人権問題に引き続き関与しつづけるとの決意を表明いただいたことに勇気づけられています。

カービー元委員長は現代社会にありながら、全体主義国家の暗闇のベールに包まれていた北朝鮮の過酷な人権侵害の実態を暴き、その責任を追究することにより、人類が生まれながらにして等しく享受できるはずの基本的人権の価値を回復する道筋を示されました。

40年もの間、北朝鮮で囚われの身になっている我々の同胞も含め、今なお北朝鮮で過酷な人権状況に苦しむ人々に救いの光を差し込んだカービー元委員長の功績に改めて敬意を表します。

カービー元委員長のご功績は、豪州が日本にとってかけがえのない友人であることを改めて示すものです。衷心より感謝致します。カービー元委員長には、これからも、全ての拉致被害者の一日も早い帰国の実現を含め、北朝鮮の人権問題への取組のため、ご助力いただけますようお願いすると共に、御健勝でお過ごしになられることをご祈念申し上げます。

2017年6月28日

拉致問題担当大臣 加藤 勝信